故今ノ正シキ勞働運動ニテソノ新展ニ伴ヒ幾多ノ危險迫害ガアル
ニ違ヒナイ
的行動ヲ見ルニソレハ資本主義政府ノ民主ヲ計ラントスルモガキ
本家ノ走狗デアリ其代辯者ニ他ナラナイ此事實ト愛國運動ノ反動
リ軍閥フアツシヨ、國際協調、之等ノモノハ内閣ト共ニ同ジク負
非常時ノ議會相ヲ通過スルニ資本主義ハ今ヤ斷末魔ニ喘ギツツア
昭和八年度ノ大會モ正ニ終末ヲ告ゲントシテヰル

一、開會ノ辭

シ今後一層ノ團結ヲ緊密ニシテ已マザル次第デアル
本大會ニ於テ多クノ議事ヲ審議シテ下サツタコトヲ衷心ヨリ感謝
ナラヌ
幾ラ引續シ障碍ナキトモ吾人ノ前途ヲ生長スヘク勇往邁進セネバ
於テモ是又第一線ニ位置ヲ更スルノデアルカラ徹底的ニ資本主

デアロウガ最後迄頑張ラネバナラナイ而シテ後ニ來ルモノハ勝利
デアル
今日迄ノ運動ハ花火線香式デアツタ我々ノ本大會ニ上程審議サレ
タル議事ヲ見ル時如何ニ建實ナル運動デアルカヲ知ルト共ニ欣快
ニ堪ヘナイ而シテ總聯合ガ如何ニ健全ナル牙城デアルコトガ自ラ
知リ得ルモノデアル
今回阪本委員長ハ國際代表トシテゼネバニ行カレルガ此受難期
ニ際シ委員長ノ出發ニ付テ考ヘサセラレル點ガアルガ外國ノ諸種
ノ運動ニ付テ十分調査方ヲオ願ヒシ我國ノ運動ヲ併セ檢討スルコ
トハ最モ有益デアルト思ウモノデアル
同輩ガツチリ腕ヲ組ンデ果敢ナル鬪爭ヲオ誓ヒスル次第デアル。

大會議案